









「これからは暗く闇の世界になりま  
す。唯、闇に申しましては随分居りま  
す。松島、鈴鹿、鶴屋、草堂、世野  
郎、時追などで其夏の間短いの命  
ですが其れゝ生活も遣へば癖も遣  
ひます」

○鈴鹿と云へば皆さんの御承知の  
小川と云へば皆さんの御承知の  
原は坐つてある位いてる。

立てて、啼く體です、顔の色が黒いの  
で直わかります、此處はあのやうに  
品の上の鼻で啼くのですが、随分意  
地の變な心で、食ものを買へます  
と善い合をします、鰻の頭でも鰻  
のかからでも、生臭いものが大好き  
で、草の葉などは一向喜びませんが  
處が仲間の松鼠の方は啼き方も  
チンチロリンチンチロリンと賑や  
な本體の音と、全然ちがひます  
その可憐い口は、野木を見つけてゐる  
やうに、

●大邱高女開校式期

▲十月上旬に延期

大邱高女校開校式は九月上旬  
舉行に豫定なりしも都合により十月  
上旬に延期したり猶ほ同地高等女  
道學校開校式も高女と同時に舉行  
するべし

さんのおやうに料理を承けて、昔いもの  
 はかりでどんなお膳が空いても決して  
 生臭いものは食べません  
 云々位に喰ひはガチャガチャと  
 其の啼き聲の通り何でも囁はカムシ  
 ヤー、食べます 桑の葉でも芋の葉  
 でも大澤びで少しも食物に分け隔て  
 厭厭に、車な命でせう夫々聞ゆる  
 空は、雨はまゝ、雨、赤なり逆さ  
 起るもの、流す、  
 手な空へ、雨、下り、雲に  
 夫の病危し  
 龍神に、たが、流し、流求、あきら、  
 都に、(待つ) 母もあり妻もあるなつて、  
 都に、流るゝらん

日藤を大そうじに戮す事のあまりに惜しう残念なりそこで新郎新婦大  
發明新案をなしたるかしや杜(一)新郎新婦の發明苦心(二)かしや杜を

## A four-panel comic strip. The top-left panel shows a man in a striped shirt running into a room, knocking over a desk and a chair. The top-right panel shows the man running past a desk with drawers. The bottom-left panel shows the man running out the door. The bottom-right panel shows the man running away from the viewer, holding a bag.

吾家にはり付け大そうじをよそに二人揃ふて散歩と出かける(三)南山公園或は油蔵里に緑陰を求めて甘き一日を暮す(四)一日の遊散に二人とも面白き思ひをなし夕暮れ時に吾家に歸りかしや札のまんまど成填

[illegible]

二番目  
新派中村榮一

義理の世の中  
親の慈悲

全九巻

**御成座**

電二九一行  
御成座

大山道一  
三全巻

火の

[illegible][illegible]

染 各種染料  
 地方より御注文は各洋行品  
 御希望の通寶亦可致候  
 會 後美豐商店

夏物紺セル洋服  
 鐵道局拂下品  
 一等無名之品 壹組 四圓五拾錢  
 二等品 壹組 四圓五拾錢  
 三等品 壹組 四圓五拾錢  
 其外雨覆日覆用携帶天幕  
 合羽冬絨洋服外套類  
 龍山元町二丁目  
 和服  
 洋服  
 商 金子町商店  
 二番以上小包郵送  
 振替 京城三八一〇五番  
 電話 二一八番

るみれき

ビバアゴ下モ、耳ウシロ、ワキノ  
 バラモ、等ニグリグリガキノ  
 安全に治す重病もキラズに去去  
 にて中込無料通知

兵衛 長井家

東洋一流の魁

日本式ストロウシューズ

半便美、  
 履き一歩も  
 痛くなく  
 同様に  
 靴と靴  
 定価式靴券二銭



東京市之區根元伏見角  
 内田靴靴造問屋  
 電話一五五一 掛番一八七一

總店丁巳京橋本儀

株式會社 京城葬儀社

一丁部

中河原重吉

井上芳太郎

浪平板

洋鐵

洋釘

本家 田知本和三郎謹製

五條店に販賣す 櫻替大坂二八八號

持約店京城南門大四通二丁目新井藥屋

福田又京城支店

電話 二一三

肝油の効用  
肝油は、一般の虚弱者、結核性素質者、營養不良に起因する眼病患者、腺病質の兒童等に對し、治療上極めて重要な位置を占めてゐる。然れども、此種の特長ある材料、甚だしく不便なるが故に、其服用を嫌惡せらるるを慨し、合氏多年苦心研究の結果、形状洋菓ドロップスに似て、麥芽糖及び可溶性の含養素物を基礎として、而かも容易に食用し得べき「肝油ドロップス」を創製す。本品は從來の肝油諸製品に優り、服用に面倒な手数を省くので、不便、難服の迅速なる等の缺點なく、殆ど本質肝油たる事を忘れ、兒童は勿論何人も喜んで食用し得ると、酷暑の候と雖も、冬季と異なる事なく、消化吸収の作用頗る良好なる事は本品の最も優秀なる特色とする所なり。

府政國米英及邦本  
許特賣專  
料壯強養滋  
スプツロド油肝

肝油ドロップス 肝油含量 瓶一瓦にして麥芽糖及び可溶性含養素物を以て成る滋養補肝料なり  
復方肝油ドロップス 肝油の含量の半減して、有機鐵、有機磷及び石炭酸類等を含有せしむ

# 肝油ドロップス

河合龜太郎氏創製  
▼「甚しき臭味を忍びて、肝油を飲用すべき時代は去れり」  
▼「咀嚼して美味無臭、容易に定量の肝油を食用し得べき」

肝油含量一瓶一グラム		用法	
大	一日二回各第三回服川	小兒	五歳以下 一日一回各第四回服川
十歳以上	一日三次各三回服川	成人	一日四次各三回服川
十五歳以上	一日四次各三回服川	力乏	一日五次各三回服川
十八歳以上	一日六次各三回服川	力乏	一日七次各三回服川
二十歳以上	一日八次各三回服川	力乏	一日九次各三回服川
二十五歳以上	一日十次各三回服川	力乏	一日十一回各三回服川
三十歳以上	一日十二回各三回服川	力乏	一日十三回各三回服川
三十五歳以上	一日十四回各三回服川	力乏	一日十五回各三回服川
四十歳以上	一日十六回各三回服川	力乏	一日十七回各三回服川
四十五歳以上	一日十八回各三回服川	力乏	一日十九回各三回服川
五十歳以上	一日二十回各三回服川	力乏	一日二十一回各三回服川
五十五歳以上	一日二十二回各三回服川	力乏	一日二十三回各三回服川
六十歳以上	一日二十四回各三回服川	力乏	一日二十五回各三回服川
六十五歳以上	一日二十六回各三回服川	力乏	一日二十七回各三回服川
七十歳以上	一日二十八回各三回服川	力乏	一日二十九回各三回服川
七十五歳以上	一日三十回各三回服川	力乏	一日三十一回各三回服川
八十歳以上	一日三十二回各三回服川	力乏	一日三十三回各三回服川
八十五歳以上	一日三十四回各三回服川	力乏	一日三十五回各三回服川
九十歳以上	一日三十六回各三回服川	力乏	一日三十七回各三回服川
九十五歳以上	一日三十八回各三回服川	力乏	一日三十九回各三回服川
百歳以上	一日四十回各三回服川	力乏	一日四十一回各三回服川

(Patented in Japan, Great Britain and U.S.A.)  
**MITSUWA COD-LIVER OIL DROPS.**  
MITSUWA COD-LIVER OIL DROPS. 120 Drops in a bottle ..... ¥ 1.20  
MITSUWA COMPOUND COD-LIVER OIL DROPS. 120 Drops in a bottle ..... ¥ 1.20  
Mitsuwa Cod-Liver Oil Drops are round-candy drops of small size, fragrant and pleasant to the taste. Each contains a guaranteed amount of one gram of Cod-Liver Oil. In its nourishing quality, taken without taxing the stomach, taken in so small a size, the Mitsuwa Cod-Liver Oil Drops far surpass any other cod-liver oil preparations on the market.  
Mitsuwa Compound Cod-Liver Oil Drops differ in that they contain one-half amount of Cod-Liver Oil and are supplemented with the effective element of iron, phosphorus, lime and quina.

**如斯人は滋養料○肝油ドロップスを用ふべし**

- 一、顔の色が蒼白くて艶無き人
- 一、皮膚の紋理が粗くザラザラとしたもの所謂あれ性の人
- 一、身體一般に貧血してある人
- 一、足さといふ病氣はなくとも何と無く弱く感胃に罹り易い人
- 一、筋肉が目立て瘦せてある人
- 一、手足が冷た寝られぬといふやうな體質の人
- 一、色が蒼くて肉度薄く、面して活潑ならぬ所謂肺病的の小兒
- 一、頭が細長く、頰が瘦け、咳嗽や痰出人並より多く出る所謂結核素質のある人
- 一、筋肉を太らせ、無病壯健に元氣よく活動せんとする人
- 一、身體一般に脂肪氣の少き人
- 一、顔や手先きを滑くし美人、産前産後の滋養を計らうとする人

**如斯人は滋養料○復方肝油ドロップスを用ふべし**

- 一、骨の故障即ち何處骨軟化、其の他種々の骨病のある人
- 一、營養不良から來れる眼病、例へば夜盲症や網膜貧血に罹れる人
- 一、肺病(癆瘵)に罹れる小兒
- 一、發育不全の小兒
- 一、貧血症になつてゐる人
- 一、肺結核其他結核的の病に罹つてゐる人
- 一、腦神經衰弱、ヒポコンデリイ、ヒステリアなどの神経病に悩まされてゐる人
- 一、陰萎、遺精などの生殖器病
- 一、心臓病に罹れる人
- 一、右の外種々の病に罹つてゐる人の滋養物として理想の良食物である

▲賣捌●全國到る處の藥舖・洋酒食料品店・化粧品店・小間物店▼

本舗 ミヅワ石鹸  
規那鐵葡萄酒  
御園化粧品

發賣元 ○ 丸見屋商店

東京市日本橋區橘町四丁目  
藥劑、滋養品、石鹼、香粧品、小間物問屋

電話略號 ○ ミヤ 振替口座東京七〇一番  
營業部電話部長花三〇、四四八、四四九、四五〇番



宮本武藏

第四百十八回

浪上三郎連記

宮本武藏は自衛隊に近付た水野... 浪上三郎連記... 宮本武藏は自衛隊に近付た水野... 浪上三郎連記...



浪上三郎連記... 宮本武藏は自衛隊に近付た水野... 浪上三郎連記...

宮本武藏は自衛隊に近付た水野... 浪上三郎連記... 宮本武藏は自衛隊に近付た水野...

秋の胃病

赤痢、コレラの微菌... 秋の胃病... 赤痢、コレラの微菌...



胃病... 胃活... 胃病... 胃活...

胃病... 胃活... 胃病... 胃活...

高井醫院分院... 外科花柳科... 診察時間...

増本酒店... 資本金五百萬圓... 増本酒店...

銀行一般の業務... 銀行一般の業務...

男の生殖器病... 生殖器病... 男の生殖器病...

油醬上最... 油醬上最... 油醬上最...

小兒科入院隨意... 小兒科入院隨意... 小兒科入院隨意...

花柳病... 花柳病... 花柳病...

淋病梅毒痔疾... 淋病梅毒痔疾... 淋病梅毒痔疾...

返金百圓進呈... 返金百圓進呈... 返金百圓進呈...

人病... 人病... 人病...

痔疾... 痔疾... 痔疾...

注意... 注意... 注意...

花柳病... 花柳病... 花柳病...

花柳病... 花柳病... 花柳病...



刊朝日四  
(頁八了共合と刊々)

[illegible]

此度鄭家屯支那兵暴行事件あるや、  
 遼東省、<sup>支那兵暴行</sup>遼東省の防備警察に關する議  
 政府は、此度の事件、事後衆議に  
 滿洲蒙古の防務に就き何等かの交渉  
 を支那政府に求めむとせ博ふ。鄭  
 家屯事件なるものは甚だ簡單なり。  
 然れども此種の事件をして再び起る  
 ことなからしむるの計を定むるは、  
 必ずしも容易ならず。我政府の職權  
 の稍過延の狀あるは、是等の善後策  
 に就き考慮する所あるが爲めなるべ  
 き。

すべきや論なく、我は我朝鮮を以て  
 亞細亞大聯盟の基礎と爲し、滿洲に  
 於ける諸施設を進む。其功程自ら見  
 べきものあり。吾人は滿蒙の治安  
 と重大なる利益關係を有するだけ  
 と之に對する義務をも深く自覺せる  
 べからず。此度の鄭家屯事件交渉が  
 如何なる點まで進むべきか、吾人の  
 與り知る所にあらす。雖も、其大體  
 の要旨に就て吾人の見るところは、則  
 ち此の如し。

補鑿所慮の實

昨(こ)年(ねん)十(じゅう)一(いち)月(げつ)本(ほん)社(しゃ)不(ふ)慮(りょ)祝(しゅ)融(じゅう)の厄(やく)に遭(あ)

して之を附議せざるべからず、日本  
 又は露西亞等にて其勢力範圍を自ら  
 整備せしむることも恐ひは其力の及ぶ  
 ところにあらずと。然りと雖も今日  
 の遼東兵の素養如何を視ると其程度  
 節制如何を察するときは、之に依拠  
 して海軍の安全を求むるといふ  
 氏當の貿易は樺出入共に逐年増進の  
 趨勢にありたるもの、戰費の結果一體  
 して非常な輸出を示すに至りたる一  
 國の親善と地理的關係とに由る必  
 要の結果にして衛生材料品銅「ア  
 ンチモニー」亞鉛鐵等の如き日本  
 通商銀行調査

とし今日に及びたるが其間同人の翼<sup>よく</sup>とに依り直に再築<sup>さいしき</sup>に著手<sup>ちやくしゅ</sup>したるならずして落成<sup>たつちやう</sup>を告げ太平街頭巨雄姿<sup>こゆうさ</sup>を現<sup>あらわ</sup>すに至らんとするは洵に

昨年十一月本社不慮祝融の厄に遭ひたるも十萬愛讀者諸君の爲に倍々奮闘努力平常の眷顧に酬ゐんとし今日に及びたるが其間同人の精勵と江湖の贊翼とに依り直に再築に著手したる社屋も愈々旬日ならずして落成を告げ太平街頭巨然として前日の雄姿を現すに至らんとするは洵に欣慶に堪へざる所也されば今回聊か自祝の意を表する爲め來る十月一日より十日間再築落成號を發行し更に一層紙面の體裁記事の精選報道の迅速正確を期し以て江湖の愛顧に酬ゐんとす是れ同人の微衷に外ならざる也敢て再築落成を報じ併せて倍々江湖の御同情を冀ふ 敬白

其、今國は百十度にして殆ど半限するのみにて如何とすべからず、電氣扇は唯熱風を扇ぐのみにて一點の涼味なく、氣息奄々の中に通過いたし候。聞く所によれば二週間以前信度河中流の最熱地を英兵の通過せしに車中にて六十餘名の日病病を生せりと云ふ、小生は幸ひに是の厄難は免れ申候如何に光線を知者もこの強烈なる熱光は餘り有難く存じ申す候未だ

大正四年の日馬頭山開闢國に於て

大食の我に露あり 萩の薙  
 竹庵の庭や願あり 萩の宴  
 一句なきは一藝なり 萩の庭  
 庭の萩むさびけ 萩の夕  
 萩折けけ 萩帶拾つ 露み  
 石切りの粉散り 萩折れたり

萩

雲涼し宮萩に人も蕨る 虎耳  
 大食の我に露あり 萩の薙 大狗  
 竹庵の庭や願あり 萩の宴 大塊  
 一句なきは一藝なり 萩の庭 同  
 庭の萩むさびけ 萩の夕 山城  
 萩折けけ 萩帶拾つ 露み 同  
 石切りの粉散り 萩折れたり 同人

台水送別會句錄

大正五年九月 日

萩の葉に風吹り燕の聲を日  
盡棟抜び萩起伏と茂り咲く  
萩太野の景に園を迷ひ來し  
鳥同  
羊人  
堂

（承前）本年は儼故にや氣候頗る不順にして五月に入りてよりマラル海一帶に雨多し、一般は雨期に入るに感ずるなり、然れども氣象は疑

せられぬ。不快云ふべからず。結句に「世に  
 定」の人は枯木寒山の如く枯生し、氣運  
 に限る。不快とすと雖も、小生の如  
 き俗物にして、僧臘旅遊の者は到底厭  
 三百十日の風餐露宿は一葉も

小説 捨兒 森田草平  
 短編 紅屋の娘 岸田 小靜  
 小説 新鮮な野榮 年中時ふるには  
 玩具の話 岸邊 逸雄  
 舞踊の話 櫻川 大正 新女大學  
 婦人の典型 三木 敏子 變化夜話  
 道徳 神道から觀た女子高生 矢野龍渓  
 淵源 神道から觀た婦人 井上 高次郎  
 優等生落第生を出す家庭 三木 敏子  
 カリの女房主 家出の音楽趣味  
 二十の會葬者を悉く泣し 山本 武志  
 新カチューシャ 話 島村 カフエー  
 連載 兩國の秋 岡本綺堂  
 小説 連載 兩國の秋 岡本綺堂

昭和十一年九月九日 東京新聞

**建國々民の趣味**

- ▲日本趣味の粹(三) ▲カ九初學の心得(一) 遊正風
- ◀獨逸之芝居(後編) ◀禮儀と作法(續前稿)
- ▽英雄ノ飄箏の趣味秋山久作(二)
- 趣▲初秋の句詠(丙) 讀語 ▲能面の諸師團警署九月趣
- 味▲謡を觀るの要訣(乙) 遊藝會白雲月九趣
- ▲歸郷に小島田川校尉、現代女談話市電車乗客之
- 世▼住宅の建築ニ趣味三浦元秀(甲) 價金六圓世界三
- 界▲聯珠の趣味平澤今吾▲月刊料理手帳の昌子銀四社
- ▼紅葉美の盆樹に就て魚籃山人錢明
- ▼重陽節古事及意見歐陽敬賢▲歌笑熊野(第二集)
- ▲花道近來の傾向及び將來の花型(續前稿)

小説  
仙ちゃん(三津木千恵子演習)  
口頭劇何れも大成功

# 朝鮮彙報

大正五年九月一日  
（定價貳拾五錢）  
（郵費貳錢五厘）

## 口繪

西歐洛喇和卓英美女體佛聖像  
西藏吐魯集集集集集及神像畫  
全羅南道之玉容竹林  
濟生院養育部嬰孩並百靈部狀

## 酒稅令

要旨

度支部長官  
荒井賢太郎

## 全羅北道農業所見

總督府技師  
中村彦

○大正四年度濟生院概況 ○臨盆水利組合事業概要 ○水害狀況  
況 ○東京に於ける朝鮮米 ○朝鮮對大阪貿易 ○七月中の朝鮮  
貿易 ○滿洲に於ける朝鮮銀行小額什拂手形 ○各道主要農產  
物及工藝品 ○稻作状況 ○醬油製造人員造石數及價格 ○朝鮮  
北部に於けるニセアカシヤの生育狀況 ○國寶經營造林事業  
概況 ○栗の播種と被土 ○朝鮮在籍船舶數

## 朝鮮施政の眞義

中樞院書記官長小松緑

七月中の鐵道運輸 ○經學院講士地方巡回講演 ○學校林の  
經營 ○内地學校視察報告 ○不動産登記制度 ○不動産登記令  
の施行並地方法院出張所の設置 ○警察實驗 ○森林雨量及  
的關係 ○孟宗竹林に關する調査 ○平壤聯合基督敎大學校長  
アル・オーレーナー氏新任式演説 ○支那地方官々制 ○聖  
僧フランソワ、グザヴリエール ○地方通信 ○雜報 ○質疑應答  
○叙任及辭令 ○統計 ○法令及通牒 ○判決例

## 印度視察談

總督府技師  
阪出鳴海

## 臺灣の私設鐵道及軌道

鐵道局參事  
鷲尾弘準

## 投稿を歓迎す

原稿締切期限毎月十日

## 販賣店

東京神山嚴松堂  
朝鮮各地の書店に販賣す

## 廣告料

一頁十圓  
取扱店  
京城  
ウツボヤ書籍店

[illegible]

酒 清 良 醇  
  
 仁 川 本 町 四 丁 目  
 吉 金 酒 店  
 電 話 七 六 四 番



已<sup>レ</sup>に自ら中<sup>ニ</sup>立<sup>テ</sup>てゐるが上<sup>ニ</sup>に  
 隻<sup>ヲ</sup>を有<sup>ス</sup>するに  
 許<sup>ス</sup>請<sup>フ</sup>邦<sup>ノ</sup>の雄<sup>ヲ</sup>に  
 は以<sup>テ</sup>希<sup>ニ</sup>臘<sup>ノ</sup>の覺<sup>ヲ</sup>  
 今<sup>ニ</sup>愛<sup>ス</sup>國<sup>ノ</sup>の



# 不老不死の靈

(二)

其蓋に若い女が  
腰を掛けて居る

犬や鶏の鳴聲の  
聞える心配のない

斯くもなれば深く  
私に實験上から

## 大の鼻の如くに 嗅覚は鋭く成て

其蓋に若い女が  
腰を掛けて居る

犬や鶏の鳴聲の  
聞える心配のない

斯くもなれば深く  
私に實験上から

## 廿三年の悪夢

聞け微

斯くもなれば深く  
私に實験上から

## 一種不可思議の 藥力を示現する

其蓋に若い女が  
腰を掛けて居る

犬や鶏の鳴聲の  
聞える心配のない

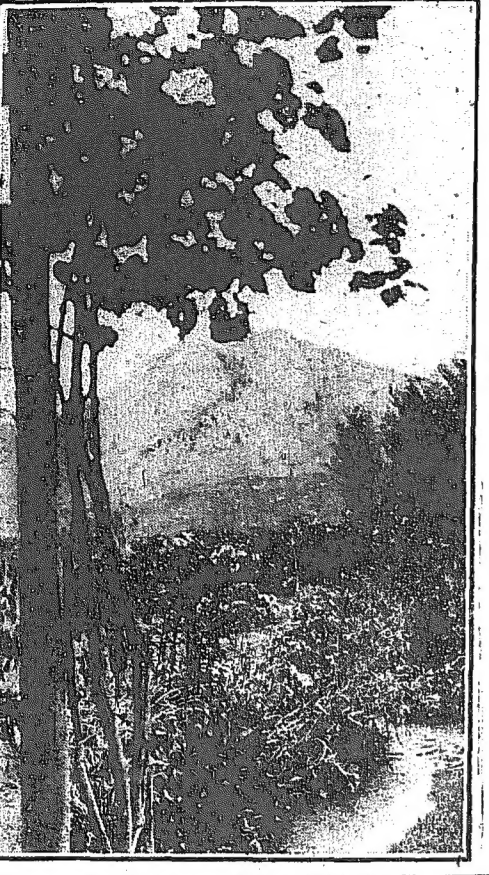
斯くもなれば深く  
私に實験上から

## 骨の粉末が 靈藥用の銅屑で

其蓋に若い女が  
腰を掛けて居る

犬や鶏の鳴聲の  
聞える心配のない

斯くもなれば深く  
私に實験上から



其蓋に若い女が  
腰を掛けて居る

## 検事正射殺事件

海州全上をへの大騒ぎ

## 兇變後報

海州分隊長來著

## 兇行前の奥山

海州分隊長來著

## 兇行時の模様

海州分隊長來著

## 兇行後の模様

海州分隊長來著

## 兇行時の模様

海州分隊長來著

## 兇行後の模様

海州分隊長來著

## 兇行時の模様

海州分隊長來著

## 兇行後の模様

海州分隊長來著

## 兇行時の模様

海州分隊長來著

## 兇行後の模様

海州分隊長來著

## 兇行時の模様

海州分隊長來著

## 兇行後の模様

海州分隊長來著

## 兇行時の模様

海州分隊長來著

## 兇行後の模様

海州分隊長來著

## 兇行時の模様

海州分隊長來著

## 兇行後の模様

海州分隊長來著

## 兇行時の模様

海州分隊長來著

## 兇行後の模様

海州分隊長來著

## 兇行時の模様

海州分隊長來著

## 入浴して大喜び

南洋へ歸る

## 泉温府別

海州分隊長來著

## 兇行時の模様

海州分隊長來著

## 兇行後の模様

海州分隊長來著

## 兇行時の模様

海州分隊長來著

## 兇行後の模様

海州分隊長來著

## 兇行時の模様

海州分隊長來著

## 兇行後の模様

海州分隊長來著

## 兇行時の模様

海州分隊長來著

## 兇行後の模様

海州分隊長來著

## 兇行時の模様

海州分隊長來著

## 兇行後の模様

海州分隊長來著

## 兇行時の模様

海州分隊長來著

## 兇行後の模様

海州分隊長來著

## 兇行時の模様

海州分隊長來著

## 兇行後の模様

海州分隊長來著

## 兇行時の模様

海州分隊長來著

## 兇行後の模様

海州分隊長來著

## 兇行時の模様

海州分隊長來著

## 兇行後の模様

海州分隊長來著

## 京日案内

海州分隊長來著

## 兇行時の模様

海州分隊長來著

## 兇行後の模様

海州分隊長來著

## 兇行時の模様

海州分隊長來著

## 兇行後の模様

海州分隊長來著

## 兇行時の模様

海州分隊長來著

## 兇行後の模様

海州分隊長來著

## 兇行時の模様

海州分隊長來著

## 兇行後の模様

海州分隊長來著

## 兇行時の模様

海州分隊長來著

## 兇行後の模様

海州分隊長來著

## 兇行時の模様

海州分隊長來著

## 兇行後の模様

海州分隊長來著

## 兇行時の模様

海州分隊長來著

## 兇行後の模様

海州分隊長來著

## 兇行時の模様

海州分隊長來著

## 兇行後の模様

海州分隊長來著

## 兇行時の模様

海州分隊長來著

## 兇行後の模様

海州分隊長來著

## 兇行時の模様

海州分隊長來著

## 天下の絶勝

海州分隊長來著

## 金剛山へ

海州分隊長來著

## 京元線平康驛より臨時

海州分隊長來著

## 諸事御照會

海州分隊長來著

## 電話九六五番へ

海州分隊長來著

## 新刊書目

海州分隊長來著

## 新刊書目

海州分隊長來著

## 新刊書目

海州分隊長來著

## 新刊書目

海州分隊長來著

## 新刊書目

海州分隊長來著

## 新刊書目

海州分隊長來著

## 新刊書目

海州分隊長來著

## 新刊書目

海州分隊長來著

## 新刊書目

海州分隊長來著

## 新刊書目

海州分隊長來著

## 新刊書目

海州分隊長來著

## 新刊書目

海州分隊長來著

## 新刊書目

海州分隊長來著

## 新刊書目

海州分隊長來著

## 新刊書目

海州分隊長來著



## A stylized illustration of a potted plant. The pot is bulbous and decorated with a pattern of dark, curved, leaf-like shapes on a stippled background. The plant has several tall, feathery fronds growing from the top. The entire illustration is enclosed in a rectangular border.

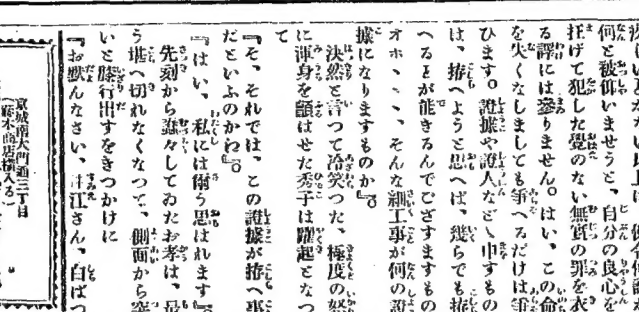
眞先に坐り込んだお孝は、先づ狐の如く陰險な目をおろりと住江にくれてから、じつくりと唾を呑込んで「旁さま、どうも驚いて了ひました既に私し、まア何ぞ申してよいか、果れて物も言へません。さ、皆さなすつとお出なさいよ、お互ひさまに虎ひ立をしたの傾の思はれちや迷惑ですから、眞實のことをお話し申さうぢやありませんか。ね、怒じ遠くにもその顔に向けた。お孝さみんなののかね。」

「いね、どんな證據がございまして、誰人が幾人出ませうと、そんなものに服従するやうな私しではございせん。私しのやうな不東者にも正しい良心と申すものが御座いますその良心を照して見まして、少しも

た。それを披けるご小さな方から純白ダイヤの入った白金の指環。大いの方からは同じダイヤと真珠とで埃反式的花を見せた十八金の腕輪が二つ出た。住江はどう思つてか、じつと流石にいた體に波一つ打たせず、淋しい笑ひを眼のあたりに漂はせて、徐かに呼

吸をしてゐた。旁子はきゅつと唇を閉して、銀鈴のやうな圓い目をまご

京城町一丁目四番地  
旭町右左入  
花柳科  
皮膚科  
外科  
内科  
眼科  
喉科  
島崎病院  
電話三三六番

[illegible][illegible]

一寸<sup>いち</sup>吾<sup>われ</sup>々の様<sup>よう</sup>な腰<sup>こし</sup>辨<sup>はん</sup>では仲<sup>なつ</sup>々に見<sup>み</sup>え  
が出來<sup>でき</sup>ないが今<sup>いま</sup>少<sup>せう</sup>し安<sup>やす</sup>くしたら如<sup>ごと</sup>く  
(活動<sup>かつどう</sup>狂<sup>きやう</sup>) ▲平<sup>へい</sup>壤<sup>じやう</sup>酒<sup>しゆ</sup>類<sup>るい</sup>販<sup>はん</sup>賣<sup>まい</sup>組<sup>ぐみ</sup>合<sup>あ</sup>では

月日から五國方の値上げをやつが吾々理々黨は大閉口だ(滿鮮生二)此頃湯錢問題で本欄を賑しつゝあるは一般人士の注目するところなり

いさか廉いさか議論を吐く諸君は、  
朝鮮各地方の湯銭及び其設備を  
べたる上京塚の湯銭の常不常を論じ  
られては如何根柢なき議論に上る

まへ(中立生)▲先日某役所へ土地を  
帳を閲覧に行つた處が袴又は羽織を  
着用して居なかつた爲め之を拒

せられ何某は特に願ひたるに塵外  
引張り出され泣く／＼睡つたのを目も  
撃した貧乏人は聞免も出来ぬ譯だ云  
急取調を要する諸君は御注意あれ時

山東炭計畫  
 大戦以後、山東の炭産量は十四萬八千噸に近く、軍用炭の需要は漸く不足するに至り、秋冷を控へ、暖氣に傾き、あつた、右の手を差込んで取出したのが、泉れて了うね、お前の鐵面、鳩吹や淫潮の注連の柄、  
 子で、少く算の中を見詰めてゐたが、主ア、何となく國邊々々しいこと、鳩吹や淫潮の注連の柄、  
 面迎れて翌日になることがある（云々）  
 乏人）

右ノ外内外主要ノ地ニ爲替取引先有之候  
安東縣奉天、大連、長春、開原、四平街、哈爾濱  
十名に達する有候然るも相替の自動

[illegible]

**男のひみつ病**

醫學博士計第二七九二四號、同第二九二〇一號、同第二九九六九號の眞空水治療器と包皮自然治癒器は共に最新發明の輕便自療器にして之を宅内に秘匿して使用せば生殖器の短小・包皮・陰萎・早洩・淋濁・夢精・神經衰弱等は即手輕全治し再發の憂なきカシ。中東亞細亞無代送呈  
郵券附此書にて郵奉と願ふ東京橋本材木町三丁目卅五番地  
大阪新療法研究所  
關する諸説あり傳説より大坂市北區北森町一番地

月刊商報發行送呈

登近  
山本町  
藤商店

八五三振 電七六八

日鮮雜貨金物卸問屋

青竹船入  
釜山釜  
島末  
店木材

洋酒罐詰

銘茶 錫粉 糖粉 石油 煙草 荷札  
卸問屋

釜山排天町  
コワヒ

長城京啓一城五〇番  
電七〇五番  
(月刊價目表發行)

科品雜貨



乾物 秘粉 麵粉 雜詰

山西義一商店  
電話七〇四

市井榮天町一丁目

# 山釜著名商店

内 外  
屋間卸貨雜

近江日本山釜  
支店日三町入館

▲高等洋酒 食料品 ▲福栄商會

信濃電氣製力ーパイト

サクラビールとダイヤ焼酎特別店

人形ミルリとクリーミーエナメル

**板硝子輸出入商**

◎鮮人向洋反物入荷仕候

**香確買**

山釜 町本 ◆ 山釜

村上元治郎

釜山留天町一丁目

[illegible]



油 香 最

— (印 ぐ ハ キ) —

**汽船釜山出帆廣告**

門司 神戶 大阪 釜山  
 出帆 浦 日 後五時出帆

**金泉鰯泉間自動車支店**

金泉鰯泉間自動車支店  
 金泉鰯泉間自動車支店  
 金泉鰯泉間自動車支店

**純粋牛乳**

純粋牛乳  
 純粋牛乳  
 純粋牛乳

**大坂農務自動車部**

大坂農務自動車部  
 大坂農務自動車部

**金泉鰯泉間自動車支店**

金泉鰯泉間自動車支店  
 金泉鰯泉間自動車支店  
 金泉鰯泉間自動車支店

**純粋牛乳**

純粋牛乳  
 純粋牛乳  
 純粋牛乳

**大坂商船出帆**

大坂商船出帆  
 大坂商船出帆

**金泉鰯泉間自動車支店**

金泉鰯泉間自動車支店  
 金泉鰯泉間自動車支店  
 金泉鰯泉間自動車支店

**純粋牛乳**

純粋牛乳  
 純粋牛乳  
 純粋牛乳

[illegible]